

IDNo.	号数	年月	著者	題目	ページ	備考
583	235	H03. 12	安 齋 実	世界射撃史 (第3回)	22~31	
584	236	H04. 2	川 越 重 昌	五箇山塩硝私考 (1 2)	01~17	
585	236	H04. 2	安 齋 実	世界射撃史 (最終回)	18~33	
586	237	H04. 3	川 越 重 昌	五箇山塩硝私考 (1 3)	01~21	
587	237	H04. 3	所 庄 吉	江戸時代における銃砲規制の変遷 (前)	22~42	
588	238	H04. 4	川 越 重 昌	五箇山塩硝私考 (1 4)	01~26	
589	238	H04. 4	所 庄 吉	江戸時代における銃砲規制の変遷 (後)	27~55	
590	239	H04. 5	川 越 重 昌	五箇山塩硝私考 (1 5)	01~10	
591	239	H04. 5	所 庄 吉	壬申の銃砲取締規制について	11~31	
592	240	H04. 6	岡 田 登	中国における黒色火薬の発明 —その発展過程と実用化の時期	01~19	
593	240	H04. 6	川 越 重 昌	五箇山塩硝私考 (1 6)	20~42	
594	241	H04. 7	川 越 重 昌	種子島鉄砲伝来時の火薬製法は如何に教 わったか (1)	01~22	
595	241	H04. 8	岡 田 登	中国、宋代における火器と火薬兵器	①~⑩	末尾頁より
596	242	H04. 9	川 越 重 昌	種子島鉄砲伝来時の火薬製法は如何に教 わったか (2)	01~29	
597	242	H04. 9	粕 谷 利 一	藩政時代の硝石の収量とその化学分析	30~56	
598	242	H04. 9	赤 羽 通 重	「講話」トルコ史にみられる鉄砲の用法	57~64	
599	243	H04. 10	川 越 重 昌	五箇山塩硝私考 (1 7) 簡易硝石土検証法	01~12	
600	243	H04. 10	粕 谷 利 一	藩政時代の硝石の収量とその化学分析	13~41	
601	244	H04. 11	川 越 重 昌	五箇山塩硝私考 (1 8)	01~11	
602	244	H04. 11	所 庄 吉	古式銃砲の用語解説 (和流砲術編)	12~47	
603	244	H04. 11	川 越 重 昌	火薬年表	48~50	
604	245	H04. 12	川 越 重 昌	五箇山塩硝私考 (1 9)	01~33	
605	245	H04. 12	所 庄 吉	古式銃砲の用語解説 (洋式砲術編)	34~67	
606	246	H05. 2	川 越 重 昌	五箇山塩硝私考 (2 0)	01~26	
607	246	H05. 2	北 村 陽 子	江戸下町鍛冶家資料の紹介	27~44	
608	247	H05. 3	川 越 重 昌	[追補稿] 品川台場用麻骨炭は栃木県壬生町産	01~08	
609	247	H05. 3	赤 羽 通 重	「ヨーロッパ火縄銃」見聞記 (3)	09~23	
610	247	H05. 3	所 庄 吉	古式銃砲の用語解説 (続洋式砲術編)	24~38	
611	248	H05. 4	川 越 重 昌	中国製硝考 (1) 旧熱河省南部、黒水地 方の製硝業 (1)	01~43	
612	249	H05. 5	川 越 重 昌	民家史からみた硝石	01~16	
613	249	H05. 5	赤 羽 通 重	コンスタンチノーブル攻撃戦	17~24	
614	250	H05. 6	川 越 重 昌	雲古から硝石への旅路	01~13	
615	250	H05. 6	所 庄 吉	「兎園小説」に見る馬上筒	14~23	
616	251	H05. 7	川 越 重 昌	人造硝石異聞	01~27	
617	251	H05. 7	所 庄 吉	短筒について	28~38	
618	252	H05. 9	川 越 重 昌	日本では硝石原料土から幾らの硝石がと れるのか (上) —その科学分析値と考慮—	01~38	
619	252	H05. 9	中 原 正 二	火薬に貢献した人々 (1) —石藤豊太—	39~48	
620	253	H05. 10	粕 谷 利 一	庄内藩の塩硝秘伝 (1)	01~13	
621	253	H05. 10	中 原 正 二	火薬に貢献した人々 (2) —山家信次—	14~22	
622	254	H05. 11	北 村 陽 子	日本橋鉄砲町と瓶惣一郎	01~17	
623	254	H05. 11	粕 谷 利 一	庄内藩の塩硝秘伝 (2)	18~30	
624	254	H05. 11	所 庄 吉	銃砲史研究の寄稿要領	31~32	
625	255	H05. 12	所 庄 吉	阿久根の仏郎機について	01~18	
626	255	H05. 12	雪島宏一・ 赤羽通重	〈資料紹介〉1565年のトルコ軍による マルタ島包囲戦記 (1)	19~31	共著
627	256	H06. 2	所 庄 吉	津田流鉄砲口決記について	01~12	
628	256	H06. 2	雪島宏一・ 赤羽通重	〈資料紹介〉1565年のトルコ軍による マルタ島包囲戦記 (2)	13~28	共著
629	257・ 258	H06. 4	所 庄 吉	砲術流派の起源について	01~12	